

# 令和3年度事業報告書

〔 令和3年4月1日から  
令和4年3月31日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社



# 令和3年度事業報告書

## 1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、流域下水道及び流域関連公共下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、「公益財団法人神奈川県下水道公社第6期経営改善計画」に基づき、効率的な運営に努めるとともに、より一層の経費の削減に取り組みました。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施困難な事業もありましたが、一部の事業では実施方法を変更するなど工夫をこらしながら、安定的な業務運営体制の確保に努め、事業に取り組みました。

## 2 受託事業

神奈川県が設置する流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務及び流域関連公共下水道の水質分析等技術的業務を受託し、創意と工夫をもって主体的に業務に取り組み、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行いました。

### (1) 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場施設等の維持管理を行いました。

#### ア 主な維持管理施設等の概要

主な下水道維持管理施設等は、次表のとおりです。

(令和4年3月31日現在)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳島	酒匂	扇町
敷地面積	26.9 ha	19.6 ha	9.8 ha	7.0 ha
水処理施設 (施設能力 日最大)	6系列 (306,150m <sup>3</sup> /日)	9系列 (531,700m <sup>3</sup> /日)	3系列 (105,648m <sup>3</sup> /日)	2系列 (55,120m <sup>3</sup> /日)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
汚泥脱水設備	遠 心 2台 スクリュウ 2台	遠 心 3台 ロータリー 1台 スクリュウ 3台	スクリュウ 4台	ベルト 2台 スクリュウ 1台
汚泥焼却設備 (処理能力 計)	3基 (320 t / 日)	4基 (660 t / 日)	1基 (60 t / 日)	2基 (60 t / 日)
幹 線 管 渠	37,960 m	89,600 m	26,920 m	19,340m
ポ ン プ 場	2 箇所	6 箇所	1 箇所	—
上 部 利 用 施 設	四之宮ふれあい広場 5.25 ha	※茅ヶ崎市へ 管理移管	酒匂きらり広場 2.1 ha	扇町しらすぎ広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備欄に記載している「遠 心」等の名称は、次の脱水機の種類を表す。

- ・「遠 心」：遠心脱水機
- ・「スクリュウ」：圧入式スクリュウプレス脱水機
- ・「ロータリー」：回転加圧脱水機
- ・「ベルト」：ベルトプレス脱水機

## イ 下水処理

### (ア) 流入下水道量

相模川及び酒匂川流域下水道の流入下水道量は、次表のとおりです。

流 域	処理場	流入下水道量 (m <sup>3</sup> )		増減 (前年比%)
		令和3年度	令和2年度	
相模川	四之宮	84,729,110 (232,130)	83,499,650 (228,770)	1,229,460 (101.5%)
	柳 島	152,948,600 (419,040)	151,364,630 (414,700)	1,583,970 (101.0%)
	計	237,677,710 (651,170)	234,864,280 (643,470)	2,813,430 (101.2%)
酒匂川	酒 匂	29,505,800 (80,840)	30,269,240 (82,930)	△763,440 ( 97.5%)
	扇 町	15,571,350 (42,660)	15,359,840 (42,080)	211,510 (101.4%)
	計	45,077,150 (123,500)	45,629,080 (125,010)	△551,930 ( 98.8%)
合 計		282,754,860 (774,670)	280,493,360 (768,480)	2,261,500 (100.8%)

(注)・流入下水道量は年間の数量で、( ) 内の数字は日平均水量を示す。

・酒匂川流域は、左右岸の相互運用後の数値を示す(扇町水再生センターへ 883,860m<sup>3</sup>送水)

(イ) 流入水及び放流水の水質測定結果

流入下水を処理するにあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

a 相模川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		四之宮		柳島		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	200	3.3	190	2.7	四之宮 25 (20) 柳島 25
	最大	320	6.2	260	4.9	
	最小	120	1.3	110	1.0	
COD (mg/L)	平均	95	8.8	100	8.7	四之宮 25 柳島 25 (20)
	最大	120	11	140	12	
	最小	64	6.6	70	6.4	
SS (mg/L)	平均	194	1.7	210	1.8	70 (50)
	最大	254	3.4	298	3.6	
	最小	134	1.0 未満	134	1.0 未満	
pH	平均	7.2	6.7	7.3	6.6	5.8~8.6
	最大	7.6	7.0	7.6	6.9	
	最小	6.8	6.4	6.9	6.4	
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	平均	210,000	8	510,000	65	3,000
	最大	850,000	32	1,800,000	280	
	最小	80,000	1	60,000	7	

(注)・BODは生物化学的酸素要求量、CODは化学的酸素要求量、SSは浮遊物質、pHは水素イオン濃度(水素指数)を表す。

・排水基準は、水質汚濁防止法又は神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準値で、( )は日間平均値(1日の平均の値)を示す。

b 酒匂川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		酒匂		扇町		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	160	1.7	170	3.4	25 (20)
	最大	200	4.6	250	3.9	
	最小	96	1.0 未満	100	2.2	
COD (mg/L)	平均	83	6.6	89	11	25
	最大	110	8.6	110	13	
	最小	43	4.6	58	6.9	
SS (mg/L)	平均	159	1.0 未満	165	3.0	70 (50)
	最大	204	2.0	218	4.5	
	最小	100	1.0 未満	116	1.8	
pH	平均	7.4	6.6	7.4	6.8	5.8~8.6
	最大	7.8	6.8	7.6	7.0	
	最小	7.1	6.3	7.0	6.6	
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	平均	140,000	7	160,000	90	3,000
	最大	340,000	74	1,100,000	860	
	最小	81,000	1 未満	46,000	10	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ。

## ウ 汚泥処理

### (ア) 汚泥等発生量

汚泥等は、次表のとおりです。

流 域	処理場	汚泥等発生量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和3年度	令和2年度	
相模川	四之宮	57,357	55,562	1,795 (103.2%)
	柳 島	122,282	120,950	1,332 (101.1%)
	計	179,639	176,512	3,127 (101.8%)
酒匂川	酒 匂	19,694	20,006	△312 ( 98.4%)
	扇 町	8,210	7,466	744 (110.0%)
	計	27,904	27,472	432 (101.6%)
合 計		207,543	203,984	3,559 (101.7%)

(注) 汚泥等は、脱水汚泥、沈砂・スクリーンかすを表す。

※ 扇町：流入下水量に対して、汚泥等発生量が増加した要因は、BOD、SS など、流入下水に占めるよごれの割合が高かったため。

### (イ) 焼却灰等処分量

焼却灰等は、全量資源として有効利用しました。

流 域	処理場	焼却灰等処分量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和3年度	令和2年度	
相模川	四之宮	1,559	1,673	△114 ( 93.2%)
	柳 島	2,650	2,688	△38 ( 98.6%)
	計	4,209	4,361	△152 ( 96.5%)
酒匂川	酒 匂	2,039	1,368	671 (149.0%)
	扇 町	209	196	13 (106.6%)
	計	2,248	1,564	684 (143.7%)
合 計		6,457	5,925	532 (109.0%)

(注) 焼却灰等は、乾灰、加湿灰、焼却沈砂、脱水汚泥を表す。

※ 四之宮、柳島：汚泥等発生量に対して焼却灰等処分量が減少した要因は、加湿灰を作成しなかったため。四之宮については加えて、焼却沈砂の発生が少なかったため。

酒匂：汚泥等発生量に対して焼却灰等処分量が増加した要因は、設備の点検等による焼却炉の停止日数が増えたことにより、脱水汚泥での処分量が増えたため。

## エ 放射能対策

焼却灰等の放射能濃度や処理場敷地境界線の放射線量を測定し、適正な管理を行いました。

## オ 施設等の管理

定期的な健全度診断や調査結果に基づき、設備機器や幹線管渠について、適正な管理を行いました。

## カ 設備機器の点検・補修等

精密点検基準等に基づき、設備機器について計画的に修繕を行いました。  
また、日常点検等により状態を把握し、適切に補修を行いました。

## キ 危機管理対応

「神奈川県下水道公社業務継続計画（BCP）」に基づき訓練を実施し、危機管理体制の充実に努めました。

## ク 環境対策

焼却炉排ガス等測定調査を実施するとともに、処理場周辺への臭気の影響及び放流水質の安全性を調査し環境保護に努めました。

### (ア) 焼却炉排ガス等測定調査

大気汚染防止法に基づき調査を行い、法令を遵守していることを確認しました。

### (イ) 敷地境界線等臭気測定調査

処理場周辺の臭気調査を行い、施設の健全なる管理に努めました。

#### < 敷地境界等臭気測定調査結果 >

流域	処理場	調査地点数	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
相模川	四之宮	5 地点	10 未満	15
	柳 島	6 地点	10 未満	15
酒匂川	酒 匂	4 地点	10 未満	15
	扇 町	4 地点	10 未満	15

(注) 臭気指数の「10 未満」は定量下限値未満を表す。

### (ウ) クリプトスポリジウム測定調査

人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて、流入水及び放流水を調査した結果、含まれていないことを確認しました。

## ケ 施設見学

小学校や自治会、地域の方々などを対象に、施設の案内や下水道の役割などの説明を行う施設見学は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため受入れを中止しました。

## コ 下水道ふれあいまつり

処理場施設見学、下水道学習室、地域の方々による演奏・踊りなど、多くの方々に参加していただき、親しまれる下水道となるよう実施してきました「下水道ふれあいまつり」は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

### < 下水道ふれあいまつりの開催概要（中止） >

開催予定年月日	令和3年10月30日（土）
共催・協力	共催 神奈川県、下水道公社 協力 相模川及び酒匂川流域関連市町
開催予定場所	相模川流域 四之宮水再生センター（四之宮ふれあい広場）
	酒匂川流域 扇町水再生センター（扇町しらさぎ広場）

## サ 水質規制支援業務

特定事業場等の監視・指導業務を行う流域関連市町の担当者及び排水基準を守るための水質管理を行う事業場の担当者を対象に研修会を実施しました。

なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から分散開催やオンライン開催などにより実施しました。

また、流域関連市町が行う特定事業場等の施設検査、水質異常時の原因究明調査及び水質規制に関する相談・提案などの技術支援（アシスト下水道）を行いました。

### (ア) 研修会の開催

#### a 水質規制担当者特別研修会

##### < 研修会実施状況 >

実施月	令和3年11月（3日間）
開催場所	四之宮水再生センター及びZOOM（オンライン研修）
対象者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
受講者数	24名
内容	(1) アンケート結果に基づき、市町が希望するテーマについて動画や実際に起きた対応事例を交えて説明 (2) 小グループによる水質規制に関するディスカッション

b 事業場排水担当者研修会

<研修会実施状況>

実施月	令和3年12月
開催場所	ZOOM（オンライン研修）
対象者	流域関連市町の事業場排水処理担当者
受講者数	56名
内容	(1) 下水道法の概要について (2) 下水処理場での処理の限界について

(イ) 水質規制技術支援業務（アシスト下水道）

<技術支援業務実施状況>

(件)

流域名	水質分析等	立入同行	相談・提案等	施設検査	合計
相模川	7 (6)	1 (2)	42 (42)	17 (0)	67 (50)
酒匂川	2 (6)	2 (2)	39 (32)	12 (0)	55 (40)
合計	9 (12)	3 (4)	81 (74)	29 (0)	122 (90)

(注) ( ) は、前年度の実施回数

(ウ) パンフレットの作成及び配布

公共下水道を使用する場合の排水に係る水質規制のあらましや届出などについて、分かりやすく説明したパンフレットを作成し、公共下水道を使用する事業者の皆様に活用していただけるよう、事業者と流域関連市町に配布しました。

(2) 下水道の水質分析等受託事業

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場等の下水の水質分析を受託しました。

<特定事業場等水質調査業務受託概要>

区分 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	3	2	増減	3	2	増減	3	2	増減
相模川流域 関連市町	7	7	0	107	86	21	6,362	4,626	1,736
酒匂川流域 関連市町	7	7	0	47	46	1	3,301	1,975	1,326
計	14	14	0	154	132	22	9,663	6,601	3,062

### 3 自主事業

多くの方に下水道への理解と関心を深めていただくための普及・啓発活動及び下水道関係者の知識や技術力の向上を目的とした研修を行いました。

また、維持管理技術の向上と運営の効率化を図るため、調査研究を行いました。

#### (1) 下水道知識普及啓発事業

##### ア 下水道作品コンクールの実施

流域関連市町の小学校4年生を対象に作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施し、応募された作品の中から入賞者を表彰するとともに、入賞作品の広報への活用を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から表彰式は中止しました。

<下水道作品コンクール表彰式(中止)>

- ・開催日 : 令和4年2月11日(祝)
- ・開催場所 : 厚木市文化会館

<作品応募・入賞数>

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	80 ( - )	528 ( - )	2,482 ( - )	3,090 ( - )	参加学校数: 148 ( - ) 参加市町数: 20 ( - )
入賞数	10	20	40	70	

(注) ( ) は、前年度の実績数

##### イ 下水道教室の実施

###### (ア) 下水道出張教室

流域関連市町の小学校へ公社職員が出向き、4年生の授業の中で下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察をしました。なお、多くのイベントが中止となる中、学校からの要望を受け、新たにオンラインによる教室を設け、一層のPRに努めました。

<下水道出張教室実施結果>

学校数	クラス数	人数
59校 (30校)	143クラス (84クラス)	4,377人 (2,778人)

(注) ( ) は、前年度の実績数

###### (イ) 夏休み下水道教室

県内在住の方を対象として、下水道の果たす役割や仕組みなどの説明、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験及び下水処理場の見学などを4回予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に続き中止しました。

<夏休み下水道教室実施結果（中止）>

流 域	開催予定場所	実施予定日
相模川	四之宮水再生センター	令和3年7月29日(木)
	柳島水再生センター	令和3年7月27日(火)
酒匂川	扇町水再生センター	令和3年7月22日(木・祝)
	酒匂水再生センター	令和3年7月22日(木・祝)

(ウ) 「下水道サポーター」講座～小学校教員向け下水道教室～

小学校の教員の方々を対象に、汚れた水をきれいにする仕組みや汚れた水の判定、処理場の見学など、下水道について学び体験する講座に参加していただき、理解を深めていただくことを予定していましたが、今年度は応募がなかったため、講座は開催できませんでした。

ウ 市町主催の環境イベント等への参加

流域関連市町が主催する環境に関するイベント等に参加し、来場者に下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割について PR しました。

<市町環境等イベント参加結果>

市 町	イベント名	参加日	公社ブース 来場者数
平塚市	ひらつか環境フェア	7月18日	116人
厚木市	あつぎ環境フェア	10月21日 ～11月4日	パネル展示のみ
相模原市	環境情報センター 11月イベント	11月13日	7人
合計（3市）			123人

(注) 前年度は、イベントは開催されませんでした。

エ ホームページによる情報発信

汚れた水をきれいにする下水道の仕組みや施設の概要、地域の方々に利用していただける広場やテニスコートなど様々な情報を発信しました。

<主な項目>

- ▶下水道の維持管理
- ▶お知らせ
- ▶イベント情報
- ▶公社情報
- ▶入札情報

## (2) 下水道担当職員研修事業

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、次の研修会をオンラインにより開催しました。

<下水道担当職員研修会実施状況>

研修会 コース名	開催年月日	対象者 (受講者数)	内容 (開催場所)
一般	令和3年6月30日	主に経験5年未満の職員 (79人)	・下水道の概説と下水道法の概要 ・下水処理場の仕組みと水質管理
専門技術	令和3年12月1日	主に経験5年以上の職員 (22人)	・下水処理場の仕組みと管理 ・事業場排水指導業務の概要について
管理者	令和3年8月25日	主に幹部職員 (13人)	・最近の下水道行政について ・公社調査研究発表(3件)

## (3) 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

職員がこれまで蓄積してきた豊富な経験や専門的な知識に基づき、維持管理上の技術的な課題やコストの削減などについて調査研究を行いました。

また、研究成果は、日々の維持管理に反映させるとともに、調査研究報告書にまとめました。

### ア 調査研究実施概要

次の4項目について調査研究を行いました。

#### (ア) 流域関連市町の技術支援に関する検討

実施所属	目的	結果
水質課	水質分析等を受託している市町に対して、事業場監視指導や悪質水の原因究明等に係る技術支援について、過去に実施した支援の内容を検証し、市町の要望を踏まえた支援内容を検討するものです。	調査検討にあたっては、水質規制に関する項目(届出業務、施設検査、水質検査、水質異常時の対応、その他)ごとにアンケート方式により、各市町から意見要望をいただきました。 アンケートの結果、過去に実施した支援については、ほとんどの市町が継続を希望することでした。 また、今後公社に求める支援については、マニュアルの作成・更新の支援や、研修及び水

		<p>質異常訓練のサポートなどの要望をいただきました。</p> <p>今後は、これらを踏まえ、各市町とご相談しながら、技術支援メニューを強化していきたいと考えています。</p>
--	--	--

(イ) 重力濃縮槽等における硫化水素濃度について

実施所属	目的	結果
業務課・酒匂水再生センター	<p>令和元年度に実施した酒匂水再生センター焼却炉の焼結対策の調査から、運転条件によって、重力濃縮槽で発生する硫化水素濃度に変動が見られたことから、その挙動について調査し、有効な脱臭装置の維持管理方法について検討するものです。</p>	<p>硫化水素の主要な発生源である機械濃縮棟、汚泥棟、沈砂池の各脱臭設備において、一定期間硫化水素の連続測定を行い、各設備での相関、運転状況との比較を行い、硫化水素の発生傾向を調査しました。</p> <p>調査の結果、機械濃縮棟の測定データから沈砂池や汚泥棟から発生する硫化水素濃度を予測することで、脱臭設備の負荷を把握することができました。これにより、活性炭が寿命となる前に適切に交換できるなど、脱臭装置の維持管理に有効であることが確認できました。</p>

(ウ) 維持管理情報の電子化とその活用

実施所属	目的	結果
四之宮水再生センター	<p>運転管理業務の効率化を図るため、四之宮水再生センターの維持管理データを電子化することにより、維持管理報告書の作成作業の省略化や集積した維持管理データによるライフサイクルコストの逡減など、期待される効果を検証するものです。</p>	<p>日常点検及び保守点検記録について、タブレット端末を導入した結果、紙媒体からの転記ミスやパソコン入力時間を縮減し、業務の効率化を図ることができました。</p> <p>また、電子化により文書管理ソフト等によるデータベースについて有効性が確認されたことから、今後も継続して活用して</p>

		まいます。 なお、ライフサイクルコストの通減などについては、機器台帳システムの再構築などが必要と考えられますので、今後の検討課題とします。
--	--	--

(エ) インターネットを活用した幹線管理について

実施所属	目的	結果
酒匂水再生センター	幹線管理業務の効率化を図るため、無償ITサービスを活用して、酒匂川流域下水道のマンホール及び管理用地等の位置情報を入力し、幹線管理への活用方法について検討するものです。	無償ITサービスとして、Google マップのマイマップ機能を活用し、県の協力も得て、必要な維持管理情報を入力しました。 その結果、マンホールの位置を常に最新の地図上に表示することが可能となり、地上点検パトロールや現場調査を円滑に進めることができるなど、幹線管渠の維持管理業務における標準ツールとして活用できるようになりました。

※ 令和3年度に予定していた「スクリュウ濃縮機の運用について」は、調査研究の対象としていたスクリュウ濃縮機の改造工事に伴い調査研究を行うことが困難となったため、中止しました。

イ 研究報告

調査研究報告書の作成・配布

公社内情報提供コーナーに備え置き、また、公社ホームページにも掲載しました。

< 調査研究報告書 > \* 電子データとして作成

名 称	令和2年度 調査研究報告書 (第39号)
掲 載 内 容	焼却炉の焼結対策に関する検討 (第2報)

## <管理部門>

### 1 職員の状況

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	構成職員数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
総務部長	小柴義隆	1					1
業務部長	川島由美子					1	1
業務部次長	西村佳裕				1		1
総務課長	(小柴義隆)	8					8
企画課長	伊藤幹生	1	1			2	4
業務課長	(川島由美子)		1	1	1	1	4
水質課長	青山光男					9	9
四之宮水再生センター所長	渡部宏則		1	4	3	5	13
柳島水再生センター所長	(西村佳裕)		1	4	4	4	13
酒匂水再生センター所長	和田安雄		1	3	2	2	8
酒匂水再生センター 扇町駐在事務所長	五十嵐雄大			1	2	1	4
合計		10	5	13	13	25	66

(注) ( ) は兼務職員。構成職員には非常勤職員を除く。

### 2 役員及び評議員の状況

#### ア 役員数

(令和4年3月31日現在)

役職名	常勤	非常勤	計
理事長	1	—	1
常務理事	2	—	2
理事	—	6	6
監事	—	2	2
計	3	8	11

#### イ 評議員数

(令和4年3月31日現在)

役職名	常勤	非常勤	計
評議員	—	9	9

## ウ 役員一覧表

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
理事長	中村正樹	常勤	
常務理事	田代秀行	〃	
常務理事	鈴木仁	〃	
理事	鈴木登	非常勤	厚木市 都市整備部長
〃	石塚俊彦	〃	伊勢原市 土木部下水道担当部長
〃	青木浩	〃	座間市 上下水道局長
〃	天津稔	〃	南足柄市 都市部長
〃	椎野文彦	〃	二宮町 都市部長
〃	稲葉展史	〃	山北町 上下水道課長
監事	近藤和彦	非常勤	藤沢市 下水道部 参事兼下水道総務課長
〃	猪鼻久義	〃	公認会計士・税理士

エ 評議員一覧表

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
評議員	小林久司	非常勤	自由が丘産能短期大学 能率科 学科長
〃	伊與亨	〃	北里大学 医療衛生学部講師、 博士、技術士(衛生工学部門)
〃	前田康行	〃	相模原市 都市建設局 下水道部長
〃	武井敬	〃	平塚市 土木部長
〃	石井謙司	〃	小田原市 上下水道局長
〃	大竹功	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	加藤康介	〃	神奈川県 湘南地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	鈴木慎一	〃	神奈川県 県西地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	福島温	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

### 3 理事会開催状況

#### <第1回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

- (第1号議案) 令和2年度事業報告書及び決算報告書
- (第2号議案) 変更認定申請及び定款変更の案に関する件
- (第3号議案) 評議員会の決議の省略の件

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第98条第1項による理事会への報告の省略

理事会への報告の内容

- (1) 専決処分事項の報告（規程の一部改正）
- (2) 第6期経営改善計画 2020年度実績状況報告書
- (3) 令和2年度第4回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告

理事会の決議及び理事会への報告があったものとみなされた日

令和3年6月10日（木）

#### <第2回理事会>

日 時 : 令和4年3月25日（金）

場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社（平塚市）

出席者数 : 理事9人 監事2人

議 事 : (第1号議案) 令和4年度事業計画書

(第2号議案) 令和4年度収支予算書

(第3号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社組織規程の一部を改正する規程

報告事項 : (1) 令和3年度第1回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告

(2) 専決処分事項の報告（令和3年度収支補正予算書、規程の一部改正）

(3) 変更認定及び定款変更に関する報告

## 4 評議員会開催状況

### <第1回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

#### 評議員会の決議の内容

- (1) (第1号議案) 令和2年度計算書類の承認の件
- (2) (第2号議案) 評議員の選任の件
- (3) (第3号議案) 理事の選任の件
- (4) (第4号議案) 監事の選任の件
- (5) (第5号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社定款の変更の件

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第195条による評議員会への報告の省略

#### 評議員会への報告の内容

- (1) 令和2年度事業報告書
- (2) 令和2年度収支補正予算書
- (3) 令和3年度事業計画書及び収支予算書
- (4) 第6期経営改善計画 2020年度実績状況報告書

評議員会の決議及び評議員会への報告があったものとみなされた日  
令和3年6月25日(金)

## 5 情報公開

当社は、四之宮水再生センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

<各種の公社情報（主な提供資料）>

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿
- ・役員及び職員名簿
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・事業報告書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等

### 事業報告の附属明細書

公益財団法人神奈川県下水道公社定款第 10 条第 1 項第 2 号に規定する事業報告の内容を補足する重要事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に事業内容を細部にわたり記載しているため作成しておりません。